

MJ進路通信

群馬県立前橋女子高等学校
進路指導部
令和4年6月29日(水) 第10号

期末考査が終わったら・・・

未来に向けて、進撃を続けよ

期末考査お疲れ様でした。終わったら、反省点、課題をすぐ書き出しましょう。スマホのノートにでもいいですね、「鉄は熱いうちに打て」が勉強の鉄則です。夏休みになると授業が止まります。苦手なところをじっくり取り組むことができます。

そして、中長期的な進路の指針を示します。1年生は7/1(金)に前女OGを講師にした「社会人講話」があります、7/2(土)は全学年で校外模試、志望校をデジタルサービスなどに書くということは大学・学部を調べるということです。夏休みにはオープンキャンパスやインターンシップに積極的に参加してください。すなわち、これからの時期は、「前女の“その先”」、具体的には自分の5年後、10年後をイメージしていくことを「意識」してください。

そこで、MJ 進路通信恒例の「先輩に聞く」シリーズ。今回は、「高校時代、苦手科目の克服法」そして「大学の時間割」を聞きました。数号に分けて特集していきます。

先輩に聞く！苦手科目をどう克服したか

前女生諸君に感じてもらいたいのは、「工夫する」ということ。

◎Aさん（東京学芸大学 教育学部A類国際教育選修3年）

国立大志望なのに、全科目できないと受験は致命的かもって思っていたし、文系科目が得意だったこともあって、私立大の方が自分には向いてるって思って勝手に選択肢を減らそうと考えた時期もありました。3科目だけの方が楽だなという逃げの気持ちがあった時期もありました。でも、私立は私立で、どの科目も高めなければいけないから大変だし、どの科目も失敗できないって思ったら、どの選択も楽なものはないと感じます。

苦手な科目があっても、その人なりの受験の戦い方があります。私は、文系科目が比較的点が取れ、理系科目が苦手でした。そのため私の戦い方は、理系科目は最低限のレベルまで、あとは得意科目でカバーしていくことでした。今から私の苦手科目に関して書きますが、別に得意になったり、克服したわけではなく、「自分が合格するために必要な最低限のレベルまで持っていく」ためにやったことです。もし参考にできるところがあれば嬉しいです。



①数学

□工夫や対策

- ・自分がどの範囲ができて、どの範囲ができない（苦手）かを把握する
→模試や定期テスト、問題集などを通して

- ・特に苦手な部分を学び直したり、スタディサプリで丁寧に理解する。
→この範囲はできないじゃなくて、どの問題も最低限のレベルまで解けるようにしておく。（例えば、(1)(2)までは解けるみたいな）
- ・授業でやったプリントをその日にできるかぎり復習。やりっぱなしにしない！
→間違えたり、解けなかったりしたものは、特に意識して復習。
- ・「メジアン」を何周もする。できなかったところはマーク→できた！を自信に
- ・授業を大切に！

②理科基礎

□最初の方は特にとにかくひどかったです（笑）。最初は半分も取れていなかったです。理科基礎は、スタートがみんな大体同じだと思う！私の周りの友達も模試あるたびにやばいやばいってなってたから（笑）。だから、その分どれだけ自分が頑張れるかで、伸びは大きく変わってくると思います。

□工夫や対策・・・数学とほとんど変わらないですが、

- ・苦手な範囲を把握する→模試や定期テスト、テキストを活用
- ・どの範囲もまんべんなく、点数を取れるように。
- ・テキストを何周かして、できなかった問題に印をつける。
- ・授業大切に！→文系受験にとって、理科基礎は後回しにしがちなので、特に授業中に理解を深めることを意識していました

③その他工夫したこと

苦手科目は気分転換にやるのも大事！集中力が切れたら、次の科目に移る方が効率いいと思います。あと、この問題やったら、「チョコを食べる」など自分を甘やかしながら無理せず継続して付き合っていけるとgood！苦手科目を勉強する時間が苦痛にならないようにすることが大事！

私はセンター試験本番で、自分の得意科目が目標点まで行きませんでした。でも苦手科目（特に数学）が今までで一番できて、逆に苦手科目に本当に助けられました。こういうこともあるんです(笑)。だから、どんなふうになるかなんてわからない！「頑張ってよかったな」って心から思えました。私は、模試で、苦手科目が足引っ張ってて、気持ちが落ちたり、焦りや不安があったりしました。でもたぶん他の友達も同じように不安や焦りは感じていただろうし、苦手科目はなおさらそう感じやすいと思います。でもみんな同じだからこそ、冷静になって、次どうするかを考えること、あとは小さな目標を立てることがいいかなと思います。誰にだって得意不得意あるからね！きっと周りにはわからないところを教えてくれる友達がいっぱいいるはず！周りを頼ること、不安を共有して、「お互いにがんばろ！」って励ましあっていくことがいいと思います。

とりあえず、今日のご褒美（アイスとかケーキとか唐揚げとか・・・）を決めるところから始めては？？

◎Bさん（東京農工大学 工学部生命工学科3年）

□受験科目 センター：国語・数学・化学・生物・物理・英語

二次：数学・化学・生物・英語

最も苦手としたのは、数学です。基礎的なことはできても応用分野はほとんどできな

ったという印象が今でもあります。センターレベルは1問1答で解き、より苦手分野の問題を抽出し、解いていました。二次対策は出題大学の問題の傾向を念入りに分析し、頻出部分の中でも基礎分野を固め、「満点を取るというよりは部分点を取りに行く」ような勉強をしていました。1,2年の頃は部活をやっていて、自分の中で数学は嫌いな教科No.1でもあったので毎日1時間だけやると決めて取り組んでいました。



また、点数が伸び悩んだのは生物です。11月あたりのセンター模試で60点以下をだったような（もっと悪かったような…）、とにかく酷かったことを覚えています。間違えた問題に関して、どのように解けばよかったのか、と間違えた原因（知識不足、凡ミス、理解不足など）を1枚の紙に問題文とともに記し、まとめ直すことをしました。まとめ直すことで、自分がどうして間違えたのかをより理解しやすくなっていたので、自分には合った対策であったなと思っています。

どれだけ周りから言われようと、自分の道を決めるのは自分です。未来を左右する選択権は自分にあります。自分がどう生きていきたいのかを良く考え、自分自身と向き合うことが大事だと思います。これは私が3年前の自分に言ってやりたいことです。何をしたらよいのかわからない人は、積極的に先生、友人等周りを頼ってみたり、自己分析をやってみるといいです。まずは行動に移してみましょう！結果は後からついてきます。

先輩に聞く！「大学の時間割」を教えてください！

大学生といっても、1年生は教養科目中心、学年が上がるにつれて専門科目、ゼミナールとなっていきます。高校と違うのは1コマ90分です。

◎Cさん（金沢大学 文系一括1年）

□大学1年（第1クォーター）期時間割					
	月	火	水	木	金
1限				☆ TOEIC 準備 I	
2限	☆ 大学・社会生活論	☆ EAP I		☆ 地域概論	
3限	☆ データサイエンス基礎	★ 朝鮮語	生活と社会保障	★ 朝鮮語	
4限				グローバル時代の社会学	
5限		☆ アカデミックスキル	環境学と ESD	グローバル時代の国際協力	

時間割は1年間で4期（第1～4クォーター）に分かれています。

第1クォーターは大学生活を送るための基礎知識を学習しました(月①②)。木②では石川県について(クルーズターミナル事業やセクシャルマイノリティに関する取り組みなど)学ぶ回と、2年次に分かれる学類の紹介を聞く回がありました(これは文系一括ならではですね)。水③の授業は年金制度について高校よりもずっと詳しく学び、勉強になりました。履修して良かったと思っています。EAPはEnglish for Academic Purposeの略で、第1クォータ

ーではParagraph writing(アカデミックな英文の書き方)を学びました。第2クォーターではプレゼンテーションのやり方について学ぶようです。第二言語はかねてから勉強したかった朝鮮語(韓国語)をとりました。進みたい学類に関連度が高いドイツ語やフランス語をとるか悩みましたが、アドバイザー教員との面談や自分のモチベーションと相談して、朝鮮語をとりました。やる気があってとったので、毎回の授業がとても楽しいです。先生は韓国人の方なので発音指導が丁寧かつ教え方が上手いです。

□大学1年（第2クォーター）期時間割

	月	火	水	木	金
1限	価値と情動の認知化学			☆ TOEIC 準備 II	細胞・分子生物学
2限	異文化間コミュニケーション(英語 class)	☆ EAP II			
3限		★ 朝鮮語		★ 朝鮮語	
4限		芸術と自己表現	ケーススタディによる応用倫理学	グローバル時代の文学	
5限		アカデミックスキル			

第2クォーターは必修が減ったので自由枠が増えました。月②の英語クラスは説明を聞くよりもペアワークやグループワークを行う時間の方が長いという特徴があります。留学生もいて楽しく異文化交流できています。水④、木④もペアワークやグループワークが予定されているので楽しみにしています。



□大学生生活・大学の様子

大学ではグループワークが再開されています。1回につき15分未満という制約はありますが、異なる学類や学年の人と意見交換や共同作業ができてとても楽しいです。学食は定期的にフェアをやっていて、その期間はとても混みます…ちなみに今は九州・沖縄フェアで激混みです(笑)。1食500円くらいで高いという人もいます。味は美味しいです！(笑)。「かるたサークル」に入って週に2～3回活動しています(活動頻度は個人の自由)。サークルの友だちと東茶屋街に遊びに行ったり、金沢観光したりと充実しています。第1クォーターから第2クォーターへの移行期間(これを{インターバル期間}といいます)にソフトボール大会があって(希望者参加制)、私も参加しました。学類単位で出場するので、同じ学類の人とめっちゃ仲良くなれました。友だちが増えたので、大学生活がより楽しくなりました！一人暮らしは慣れないことばかりですが何とかかなります(笑)。「あー！またやらかしたっ！」とワタワタするのも案外楽しかったりします(笑)。家事をやりながら、「今まで親にやってもらってばかりいたな」と痛感しました。受験期も支えてもらってありがたかったなとつくづく思います。第1志望校に合格するために死にものぐるいで頑張った1年前、数ヶ月前の私に恥じないように、将来の夢を常に見据えて大学でもしっかり学びたいと思っています。